

1 事業が目指すところ

3年計画で地域資源のコラボレーションによる付加価値を高めるアイテムづくりを実践し、事業提案する(2019年度～2021年度)

- 1年目：地域ブランディングの先進事例の調査
- 2年目：中山間地域での事例を研究 → 3つの視点に絞り込み
- 3年目：①環境保全×食(遊休農地を活用して栽培したブルーベリー)
②街道文化×食(旧因幡街道筋に伝わる郷土食の鯖食)
③地域を訪ね歩くフットパス×食(名水で栽培された葉ワサビ)
◎特産品づくりを実践し、地域ブランドのアイテムとして提案!



会員によりワークショップの様子

2 活動内容

(1)提案のための試作ワークショップ開催

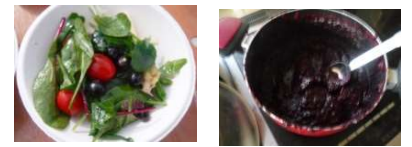
対象：会員、賛助会員、ボランティアスタッフ(参加人数30人見込)

①環境保全×食：遊休農地で栽培した「ブルーベリー」を活用

- 1月29日 宍粟市「安賀夢庵」にて実施 3種類
- 2月28日 宍粟市「安賀夢庵」にて実施予定 2種類

②街道文化×食 江戸時代から旧因幡街道筋に伝わる「鯖食」を活用

- 10月2日 宍粟市NPO事務所にて実施 1種類
- 10月24日 宍粟市「安賀夢庵」にて実施 2種類
- 11月14日 宍粟市「安賀夢庵」にて実施 2種類
- 1月29日 宍粟市「安賀夢庵」にて実施 3種類



鯖やblueberryの試作品の数々

(2)ブランディングワークショップ開催

①と②は当初、加工施設での1～2月に計画していたが、社会情勢により中止し、新たに果樹園オーナー向けのワークショップとして3月20日に開催を計画

対象：会員、賛助会員、ボランティアスタッフ、果樹園オーナー(参加人数50人見込)

③はフットパスイベントとして3月27日に開催を計画

対象：会員、賛助会員(参加人数20人見込)

地元ガイドの案内で地域を訪ね「名水で栽培した葉わさび」の圃場見学、加工体験(地元公民館)

※イベントの開催日程は、社会情勢により規模や時期を変更または中止の場合あり

3 成果や課題点

(1)成果

地域ブランド推進スタッフが熱心に意見交換を行い、協力して試作メニューワークショップに取り組む。1月末時点で11種類の試作ワークショップを実施。アンケートでは率直な意見が多く寄せられた。アンケートを参考に食材選びや組合せ、調味料など、アイテムの改良につながった。

(2)課題点

社会情勢を考慮し、会員やボランティアスタッフなど関係者を中心とした事業推進となったため、ワークショップやイベントでの一般参加者募集が行えず、より多くの意見を集めることが出来なかった。

4 今後の展望、成果の活用

地域資源のコラボレーションで得られた成果をまとめる。道の駅レストランや生産加工グループに新たな地域ブランドのアイテムとして事業提案する。イベントでの活用を図る。